

令和7年度第2回勝浦市地域公共交通活性化協議会 会議録

開催日時：令和7年8月25日（月） 午後2時から

開催場所：勝浦市役所 4階 大会議室

出席委員：別紙 出席者名簿のとおり（委員20名のうち16名出席）

欠席委員：成田委員、大矢委員、長谷部委員、紫関委員

事務局：勝浦市企画課（水野・忍足・植村）

オブザーバー：ランドブレイン株式会社（2名）、三ツ矢エミタスタクシーHD株式会社（1名）

会議次第

1. 開会
2. 報告
(1) 「ノッカルかつうら」実証運行状況及び今後のスケジュールについて
3. 議題
(1) 勝浦市地域公共交通計画の令和6年度評価等結果について
4. その他
5. 閉会

〔配布資料〕

- ・会議資料
- ・勝浦市地域公共交通計画（抜粋）
- ・令和7年度勝浦市地域公共交通計画推進業務 進捗状況

1. 開会

2. 報告

- (1) 「ノッカルかつうら」実証運行状況及び今後のスケジュールについて

【説明】

- ・事務局より、会議資料P3～4について説明

【質疑応答】

(委員)

実証運行において、ドライバーと利用者が不足していることから、令和8年1月末まで延長されることがあるが、有償運行に向けた判断材料として、どのくらいの人数を確保したいのか。

(事務局)

当初、ドライバーを10名確保することを想定しておりましたが、現状、ドライバーは3名であり、事務局としても適宜ドライバー募集の啓発に努めているところであります。ドライバーについては、新たに2名を確保できる見込みである。市としては、一部のドライバーだけに負担がかかるような交通サービスは避けたいと考えており、最低でも5名程度は確保しないと運用が難しいと考えております。

利用者については、74 名が利用されているが、リピーターの利用が大半であり、実利用者は少ない状況である。運転手の人数が増えると、マッチングの回数が多くなり、利用者の人数も増えると考えております。

(委員)

利用者数の登録人数は、14 名と記載されている。登録人数は何名を想定しているのか。利用者の登録者数よりもドライバーの確保が優先か。

(事務局)

利用者については、チラシの配布を行い、利用したい方にアプローチをしていく予定である。ドライバーが確保できないと成り立たない交通サービスの為、(株)博報堂と連携を図りながら、運転手確保と利用者の確保を 10 月から 11 月まで継続的に実施していく計画であります。

(委員)

ベisia勝浦店が主な目的地と記載されているが、塩田病院の利用はないのか。

(事務局)

ベisia勝浦店の利用は 8 割から 9 割であり、塩田病院の利用は少ない状況であります。勝浦駅の利用も少ないが、利用されております。

(委員)

塩田病院総合診療科の青木氏が地域医療に興味を示しており、松野地区で医療相談を 8 月 31 日に実施する予定である。松野地区のお年寄りからすると、病院に行く手段が不便という声が上がっている。塩田病院の動向を踏まえ、ノッカルかつうらを先生を通して周知することで、連携した取組みができるのではないか。

(委員)

現状、利用者も不足していると思われる。今後実施予定のアンケート調査やヒアリングからニーズを把握すると思うが、現在の運用においては、停留所や行き先、時刻表等が決まっている。利用したい方が躊躇している場合、停留所や時刻表の廃止等の制度を大きく変えることは可能であるのか。

(事務局)

総野地区では、路線バスが運行している。市は、公共交通の維持が重要な課題である。ノッカルかつうらの制度を全て自由にすることは、かなり難しいと考えている。路線バスが運行していない時間や曜日等を考慮した制度の見直しは可能であると考えております。

(会長)

塩田病院が実施する青空診療所にて、チラシ配布や説明会の実施を検討してほしい。

(委員)

総野地区では、10月19日に青空診療所が実施される予定である。このような機会では、チラシ配布や説明を行うことを検討してほしい。病院の関係者には、実施場所への足がない状況であり、送迎等を出していただけるとありがたいと話をしている。高齢者にノッカルかつうらを利用し、青空診療所に向かう仕組みがあると、今後、ノッカルかつうらが生活の足として必要とってくれる方が出てくると思う。その時には、お願いしたいと思う。

(会長)

各関係者と連携して取組んでいただきたい。

3. 議題

(1) 勝浦市地域公共交通計画の令和6年度評価等結果について

【説明】

・事務局より、会議資料P5～6について説明

【質疑応答】

(委員)

P4の㈱博報堂はどのような会社か。

(事務局)

ノッカルかつうら（自家用有償旅客運送）のアプリ開発や制度の運営支援を行っている会社であり、勝浦市は、㈱博報堂に委託し、事業を進めている。㈱博報堂は、富山県朝日町等の全国各地の交通空白地域で支援しており、国の優良事例にも取り上げられている。㈱博報堂が実施している公共交通サービスは、ノッカルという名称で運用されていると思われます。

(会長)

評価指標「デマンドタクシーの利用者満足度」について、令和6年度は、アンケート調査を実施していないことから、「－」である。判定基準が「^」の理由は。

(事務局)

基準値と比較し、令和5年度の数値が上がっていることから、目標値に近づいているとして表記をしました。令和6年度は、アンケート調査を実施していないことから、判定結果を再度見直す必要があると考えます。また、「勝浦駅1日平均利用者数」も数値が分からない状況のなかで評価しておりますので、「デマンドタクシーの利用者満足度」と「勝浦駅1日平均利用者数」については、「－」に修正をさせていただきます。

(会長)

分析結果と評価・次年度に向けた課題や取組みの部分についても見直してほしい。

評価指標「市内停留所における高速バスの年間利用者数」において、令和6年度は基準値比較では上向きである。前年比と比較した方が良いのではないかと。

(事務局)

令和3年度と比較すると令和6年度の数値は、目標値に近づいていることから、「A」と表記させていただきました。前年度と比較した場合、利用者数が減少しているが、全体評価をした場合、目標値に近づいていることから、「A」と評価しました。

今後、地域公共交通計画を改定する際には、毎年度のベンチマークを取り入れ、各年度において評価できるようにしていきたいと考えております。

(会長)

シビアに評価すると前年度との比較評価になる。時間が経過していることから、前年度との比較評価が良いと思う。検討してほしい。

評価指標「公共交通への公的資金投入額」は、瞬間的に費用が増える場合がある。目標値としては、ランニングコストについて評価していると考えられる。令和6年度は、デマンドタクシーの見直し等によって、公的資金投入額が増えた。イニシャルコストを評価した方が良いのか。

(事務局)

交付金を活用した事業について、令和6年度については、導入した年度の為、事業費が増えた。評価指標については、全体の事業費として算出し、評価した方が良いと考えている。年度ごとに評価する場合は、ランニングコストに絞って評価した方が正確であると思われるため検討させていただきます。

(会長)

現計画の評価は、いつまでに確定するのか。

(事務局)

交通会議で協議した後、国土交通省・総務省へ提出することになります。今回については、判定基準等を修正した後、9月初旬には提出する予定であります。

【議決】

- ・修正・検討事項は、会長一任
- ・異議なし、承認

4. その他

【説明】

- ・業務委託者（ランドブレイン株式会社）より、会議資料「令和7年度地域公共交通計画推進業務 進捗状況」について説明

【質疑応答】

- ・質疑なし

5. 閉会